



『足利の近代化遺産を考える会』主催



砂防堰堤の役割・歴史的橋梁の形を学ぶ

西日本豪雨の惨状が、増水した河川の怖さを改めて教えてくれました。渡良瀬川の中流域に住む私たちは、渡良瀬川の上流において、中・下流域の安全のためにどのようなことが行われているのかを目にすることはあまりありません。

このたび、普段は見ることのできない足尾地区の砂防堰堤（ダム）を、専門家の解説付きで見学いたします。渡良瀬川の治水と沿川流域の安全・安心に向けた足尾地区での取り組みを知る絶好の機会です。また、歴史的に貴重な橋梁の形の違い、その特徴・価値について解説いたします。

今回の見学会は、子供たちの夏休み期間に設定しました。ご家族連れでのご参加をお待ちしています。



■日 時：~~8月9日(木)~~ 9時～17時 小雨決行 ⇒ 台風13号への対応から、8/27に延期

■集合場所：別途参加者に連絡します

■見学場所：足利→第二渡良瀬川橋梁→第一松木川橋梁→古河橋→昼食（環境学習センター）→足尾砂防堰堤→松木川1号砂防堰堤→関守床固群→足利（マイクロバス移動）

■参加費：1,200円（昼食代、保険料、ほか）

■定員：先着24名

❖お申込み：7月31日（火）までに、事務局・小林まで

ファックスまたはメールにてお申し込みください。

Eメール：snkk2008@02.watv.ne.jp

FAX：0284-73-1817（お間違いの無いようご注意ください）

❖服装：動きやすい服装、履きなれた靴、帽子

❖持ち物：筆記用具、保険証、雨具、

❖昼食：弁当（事務局が準備致します）

・・・申込書・・・

お名前	ふりがな	生年月日	T,S,H
ご住所			
携帯番号		Eメールアドレス	

